令和５年１２月定例会一般質問通告書

令和５年１１月１０日

琴浦町議会議長　大平　高志　様

【通告１番】
琴浦町議会議員　小椋　憲浩

次の事項について質問します。

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
１.中学生議会・女性模擬議会を受けて町政への取組について	令和５年８月 22 日に「高校の魅力化について考える」と題して中学生議会が、そして 11 月 18 日には３回目を迎える女性模擬議会が開催され様々な提案がなされてきたが、本町の施策としてどの様に取り組むのか伺う。	町　長 教育長
２.担い手不足解消の取組について本町の具体的な方向性について	第１次産業の担い手不足の問題は、以前より多く議論され、国政レベルでも施策が打ち出されているが、ここ数十年の間では大きく解決できずに推移している部分が多い現状があり、まさに難題である。 本町が新たな取り組みを提案し、全国の優良事例となり得る施策があるのか、その方向性について伺う。	町　長
３.森林環境譲与税の取組について	森林環境譲与税の令和６年度予算に向けた取り組みと活用方法について伺う。	町　長

令和５年１２月定例会一般質問通告書

令和５年１１月１３日

琴浦町議会議長　大平　高志　様

【通告２番】
琴浦町議会議員　田中　　肇

次の事項について質問します。

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
１.人工芝と天然芝の特性を生かした施設整備について	本年10月23日に開会された第７回琴浦町臨時議会において、一般会計補正予算(第７号)が可決され、人工芝による東伯総合公園サッカー場の改修設計業務が予算化されました。 これにより、５年に及ぶ人工芝と天然芝の論争に、ようやく決着がつき、日本サッカー協会の助成等を受けて、町の財政負担を軽減する有利な事業着手が可能となりました。 今後は人工芝と天然芝それぞれの特性を生かした施設整備が重要だと考えます。 次について町長と教育長に伺う。 (1) サッカー場の人工芝整備に関する住民への情報提供 (2) 補正予算審議の過程において、複数の同僚議員から提案や要望があった多目的広場などの芝生化	町　長 教育長
２.町有マイクロバスの利用について	平成31年４月に「琴浦町有マイクロバスの使用に関する基準」が前町長時代に改正されて以来、不便を訴える町民の声をよく耳にします。 こういった声を町は認識しているか、またどのような対応をしてきたか町長に伺う。	町　長

令和５年１２月定例会一般質問通告書

令和５年１１月１６日

琴浦町議会議長　大平　高志　様

【通告３番】
琴浦町議会議員　谷田　順子

次の事項について質問します。

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
１.公共施設等の環境整備について	官民挙げて琴浦町の魅力を精力的に発信され、「住みたい田舎ベスト１」に輝くなど、全国的に注目されているところです。 観光や視察など、県内外から多くの方が琴浦町を訪れておられると思いますが、琴浦町の玄関口ともいえる都市計画道路や生涯学習センター駐車場の環境整備についての考えを伺う。 (1) 東伯大橋や山陰道を経て本庁舎に至る都市計画道路や、生涯学習センター(まなびタウンとうはく)の駐車場は除草作業が追い付かない状況になっているが、どのような対策を考えておられるのか伺う。 (2) 生涯学習センターの南側駐車場（東端）の街路灯が撤去されたままになっており、安心して利用しにくい状況が続いているが、再度設置する考えは無いのか伺う。	町　長

令和５年１２月定例会一般質問通告書

令和５年１１月１６日

琴浦町議会議長　大平　高志　様

【通告４番】
琴浦町議会議員　川本　善孝

次の事項について質問します。

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
１.学校給食費の無償化について	(1) 本町の令和４年度決算によると、教育費は830,591千円で前年の令和３年度933,854千円より、103,263千円も減少した。一般会計に占める割合も令和３年度7.85%から令和４年度6.90%と１%近い減少である。 給食費の無償化を求める議会での度重なる質問に対し、前教育長はそれを実施しない根拠として「限られた予算」を最大の理由としてきたが、１億円強の減少額は小・中学校の給食費を完全無償化できる金額である。所見を伺いたい。 (2) 『鳥取県市町村要覧』(公益法人鳥取県市町村振興協会発行)によると、教育費が一般会計に占める令和３年度県内町村の平均割合は9.0%、令和２年度は8.2%となっており、本町の令和４年度の6.9%はあまりに少ないと考えるが、所見を伺いたい。	町　長 教育長
２.地区公民館の設備・機能について	(1) 浦安地区公民館は本年４月に旧社会福祉センターに移転したが、他の地区公民館にはある「調理室」が無いなど、機能上に問題を感じる。地区公民館の設備・機能のあり方についてどのように考えているのか所見を伺う。	教育長

令和５年１２月定例会一般質問通告書

令和５年１１月１６日

琴浦町議会議長　大平　高志　様

【通告５番】
琴浦町議会議員　手嶋　正巳

次の事項について質問します。

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
１.小中学生の不登校について	全国で不登校の児童生徒が急増している。文部科学省が公表した 2022 年度の「問題行動、不登校調査」結果では、不登校の小中学生は、過去最多の29万9,048人に上がったと聞いている。 琴浦町の現状とその対策について伺う。	町　長 教育長
２.婚活支援について	若い世代を中心に未婚化が進んでいる中、各地の自治体やＪＡなどが独自の婚活支援に力を入れていると聞いている。琴浦町の現状は把握しているつもりですが、私はさらなる支援が必要と思う、町長の考えを伺う。	町　長

令和５年１２月定例会一般質問通告書

令和５年１１月１６日

琴浦町議会議長　大平　高志　様

【通告６番】
琴浦町議会議員　川本　正一郎

次の事項について質問します。

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
１.観光農園・体験農業の現状と支援	琴浦町総合計画政策として、魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくりの中で、農林水産業、商工業、経済、観光 町の強みである自然と食を活かして、一次産業を基盤とした産業振興を図るとあります。次の観光農園と体験農業などについて、町長と教育長に伺う。 (1) 現在の観光農園と体験農業の状況 (2) 町の魅力発信と新しい観光開発の状況 (3) 観光農園と農業体験農家への支援の現状 (4) 小中学生の農業体験の実施状況と考察 (5) 来年度以降の農業体験や収穫体験の計画	町　長 教育長
２.スマート農業の進捗と取組み	魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくりとして、ロボット技術やＩＣＴを活用して超省力・高品質生産を実現する新たな農業スタイルで、生産性の向上、担い手の確保及び労力の軽減を図るとある。現在の琴浦町での、スマート農業の進捗と取組みを伺う。 (1) 集落営農組織などや生産組織の取組み (2) 地域農業の担い手と後継者の取組み (3) 新規参入農家の取組み (4) 来年度以降の取組み計画	町　長

令和５年１２月定例会一般質問通告書

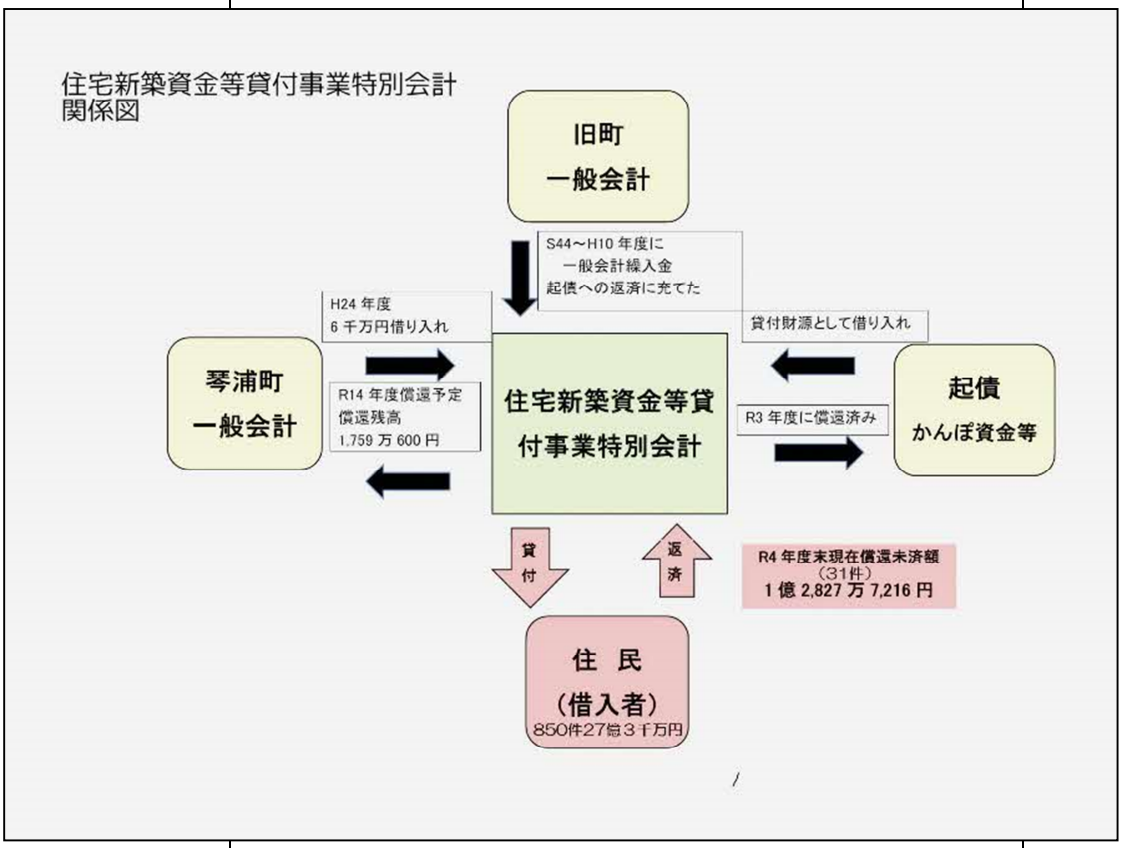
令和５年１１月１６日

琴浦町議会議長　大平　高志　様

【通告７番】
琴浦町議会議員　押本　昌幸

次の事項について質問します。　1/4

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
１.「住宅新築資金等貸付事業特別会計関係図」（税務課）について	(1) 予算・決算特別委員会で税務課から提出され「同和対策事業・住宅新築資金等貸付事業」の資金の流れの「関係図」について問う。	町　長



【通告７番】　押本　昌幸　議員　2/4

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
２.多目的サッカー場について	(1) 両（赤碕・東伯）総合公園の施設管理者について。赤碕総合運動公園は「都市公園法に基づかない公園」であり、琴浦町教育長。東伯総合公園は「都市計画法に基づく公園」であり、琴浦町長のはずである。にもかかわらず、多目的サッカー場の人工芝化に関しては「社会教育課」が担当であるかのように説明している。なぜか。東伯総合公園の施設管理者はあくまで琴浦町長である。 (2) ３年前、私が「人工芝化」に賛成したのは、85%にものぼる(今回は 44%)補助金が使用できることと、プラスチックごみはきれいに回収できるということと、天然芝であるならば「ティフトン」系が望ましいが、地元の日本芝との交雑が懸念され事実上「ティフトン」は採用できない、ということからであった。 そこで問う。実際、この地元で「ティフトン」の種子が飛散して「日本芝」と交雑したという事実はあるのか。 (3) 日本サッカー協会会長の田嶋幸三氏が、「人工芝」の課題を述べている（長野県「須坂市北部運動広場」竣工式 2022.5)。 ①「張替え時の廃棄」、②「雨水と流出する懸念のある充填剤などＳＤＧｓの観点から環境に影響を及ぼしかねない」と自認している。 ①については、現在「産業廃棄物」として最終的には「埋め立て」しかないが、それを承知の上で「ティフトン」という激しい運動に最適な天然芝がありながら「人工芝」を取り入れようとするのは、日本サッカー協会会長がいうようにＳＤＧｓの観点からいかがなものか。琴浦町もＳＤＧｓは重要な課題と取り上げているはずだ。そして襟にバッチが輝いているはずだ。	町　長

【通告７番】　押本　昌幸　議員　3/4

質問項目	質問要旨(内容)	答弁者
	②について、須坂市では「ＳＤＧｓの実現を市の総合計画の核とされており、この施設（多目的サッカー場）も雨水を集めて地下浸透させる施設内排水を採用」したとされている。同じ長野県の高森町の場合（2024年６月竣工予定)、この排水施設については､サッカー場に隣接して17.5m×38.9m=667㎡の調整池を設置している。これで「30年に一度の雨水（24時間降水量で300mm前後)」に対応できるとしている。 最低でも、これがなければ「東伯総合公園」の下流域「笠見地区」の浸水の再発が懸念される。現在用水路の整備が計画されている上にである。その対策はいかがか。また、笠見地区住民への説明はしないのか。 (4) 須坂市の人工芝の運動施設では、積雪時の運用基準を設け「積雪時に雪かき等の除雪を行って使用することは厳禁」とある。それは「人工芝が痛む恐れがあるここと、敷き詰められているマイクロチップが場外に放出され環境に影響を及ぼす懸念があるため」とされている（雪解けは天然芝の方が早い)。また､高森町では防球ネットの下部60cmまでは「不織布スクリーン」を設置する予定である。ここまでして人工芝と充填剤のマイクロチップ流出に対策を講じているが、あくまでもその量を減じる策である。東伯総合公園の場合はいかがか。 また、須坂市、高森町とも山に囲まれた地域であるが「東伯総合公園」は海に近い。サッカー場から流出する充填剤のマイクロチップ、および人工芝の微紛末は洗川および茅町川を通じて日本海に流れる。赤碕町漁協は、河川掃除でさえ沿岸漁業に差し支えると時期によれば禁止している。マイクロチップ､マイクロプラスチックならばなおさらのはずだ。沿岸地域の住民への説明はしないのか。	

【通告７番】　押本　昌幸　議員　4/4

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
	(5) 鳥取県は全国２位の芝の生産高を誇り、琴浦町は県内２位の生産高で数億円に及ぶ。天然芝はティフトンを含め生産者の誇りだ。まして、それが五輪に使用された新国立競技場と同じ生産者の芝の地の総合公園のメインの多目的サッカー場が「人工芝」とういうのは何とも情けないではないか。 　また将来を担う子どもたちが人工芝の上で過ごすのと、天然芝で過ごすのと、この幼児体験が将来に及ぼす影響を考えれば「人工芝」化は大人の愚かさの象徴ではないか、未来ある子どたちへの考え方はいかがか。	

令和５年１２月定例会一般質問通告書

令和５年１１月１６日

琴浦町議会議長　大平　高志　様

【通告８番】
琴浦町議会議員　桑本　　始

次の事項について質問します。1/2

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
１.子どもの休み方改革「ラーケーション」の導入について	愛知県が９月から導入した制度で、学習のラーニングと休暇のバケイションを組み合わせた造語。 児童生徒が保護者との校外学習を目的に自由に休む日を選択できる制度。１年間に最大３日までで欠席とはせず、受けられなかった授業は家庭での自習で補う。 この発想は土・日休めない保護者の休暇に合わせて子どもと一緒に過ごせる機会を増やす。 （全国の調査(R3)で土曜日に働いている人は45.5%、日曜日に働いている人は30.4%） 愛知県の「ラーケーション」制度参照	教育長

【通告８番】　桑本　　始　議員　2/2

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
２.子育て支援政策について	(1) ０歳児のオムツ定期便（オムツ、ミルク、離乳食などの育児用品のカタログから毎月２点を選ぶ）として月に１度、町から業務委託し、専任のスタッフが家庭に配達する仕組みの導入について。（対象：生後３ヶ月～満１歳の子供がいる家庭） (2) 養育費の助成について ① R5 養育費にかかる公正証書等作成促進事業助成金の実績はあったのか。 ② 養育費立替支援事業の創設 取り決めをしたのに受け取れていない養育費を３ヶ月月額５万円まで立替支援をする。 （子どもが琴浦町に住み調停書や公正証書などの公的な取り決めをしている、また、毎月分の養育費を受け取れていない人が対象)。 養育費差押えサポート事業も併用させ、条例を制定し取り組まれないか。 （兵庫県明石市子育て政策参照）	町　長